



オートバックス
(株式会社 美作グループ本社)

事業内容

カー用品販売・取付、車検整備

創業 昭和52(1977)年2月

代表者 代表取締役 川嶋 健文

社員数 137名(男83名 女54名)

本社 岡山県津山市昭和町1-86

電話 0868-23-1068

採用エリア(勤務地)

松江市、米子市、浜田市、出雲市、鳥取市、倉吉市、西伯郡、岡山県

採用区分

新卒採用

キャリア採用

採用担当者からあなたへ

オートバックス美作グループはカーライフを通じて「お客様にとってなくてはならないオートバックス」を目指して、日々、接客や売場作り、カー用品の取付や交換、車検整備を行っています。クルマに詳しくなくても大丈夫、前向きに頑張る方をお待ちしています。



常務取締役
榎田 一秋さん

資料請求・お問い合わせ先

採用直通 TEL

0868-23-1068

採用直通 E-mail

jinji@mimasakugroup.com

公式サイトは
こちら



Instagramは
こちら



スタッフ同士の仲の良さが自慢

学生時代のアルバイトなどの経験を通して小売業に興味を持ち、専門学校での合同説明会をきっかけに同社に入社したという谷田さん。「自分で車を運転するようになったことで、車に興味を持ちはじめた」と当時の志望動機を語る。出身は岡山だが、東米子店で研修をする中で「ここで働きたい」と思い、地元を離れることを決意。現在はカーライフアドバイザーとして、主にフロアでの接客を行っている。

明るく話す姿が印象的な谷田さんだが、もともとは人見知りをするタイプだったという。「仕事をする上でコミュニケーション力が身に付きました。接客していて、お客様に顔を覚えていただいたり、ありがとうございますっていただいたりするとすごくうれしい。会話の中でも学ぶことも多く、日々勉強させてもらえることに感謝です」と話す。会社の自慢はスタッフ同士の仲の良さだとい、休日には同期の仲間と遊びに行くことも。「先輩後輩関係なく気さくに話ができる関係。プライベートなことやちょっとした悩みも聞いてもらえて、毎日楽しく働いています」と、弾けるような笑顔で語った。



東米子店 フロアスタッフ
谷田 理菜さん(22)
2023年入社(2年目)



日常でも役に立つ車の知識と技術

お客様の車を預かり、車検やオイル交換、エンジンルームの点検などを行うピットで働く矢木さん。地元岡山県の高校時代に、販売実習の授業で接客業に興味を持ち、就職活動の中でオートバックスの仕事に魅力を感じて入社を決意。現在は日吉津店に勤務し、タイヤやオイルの交換といった業務をメインに行っている。「ワイパーやバッテリーなど、交換が必要な物があればお客様にご提案することもあります」。そうしたピットからの販売売上に貢献し、昨年には中四国・九州エリアを対象とした《南日本事業部冬コンテスト新人ピット部門》で第2位となり、表彰されたことも。「入社時は“オイル交換って何?”というレベルからのスタートでしたが、仕事で学ぶ中で知識や技術も増えていきました。今は家族からも車について聞かれるようになり、日常生活でも役に立つ知識だと感じています」と話す。中学高校では野球部に所属していたという、「チームスポーツの経験が、社員みんなで店を支える今の仕事に生かしている」という矢木さん。今後は販売も経験してみたいと、仕事への意欲を語った。



日吉津店 ピットスタッフ
矢木 康大さん(19)
2023年入社(2年目)



1 明るく活気があり、撮影中も和気あいあいとしたやり取りが印象的なオートバックス東米子店のスタッフの皆さん 2 記念すべき10店舗目となる日吉津店が2024年10月にオープン 3 津山院庄店ではスタッフの休憩スペースをリニューアル。ゆったりとリフレッシュできる空間だ 4 美作グループの取締役を務める川嶋盛嗣さん

オートバックス(株式会社 美作グループ本社)

心をこめたサービスと接客で
山陰の車社会をサポートする

60
LEADING COMPANY

地域の人たちのカーライフをもっと楽しく、快適に

カー用品の販売から、取付・交換、車検・整備にいたるまで、車に関する幅広いサービスを提供する「オートバックス」。まさにクルマのことなら何でもお任せといったワンストップ業態で、カー用品店の最大手を誇っている。

オートバックスは全国に多数の店舗をフランチャイズ展開しており、その中で山陰両県と岡山県で合わせて10店舗を運営しているのが、岡山県津山市に本社を構える《株式会社美作グループ本社》である。1952年に自動車メーカーマツダの販売代理店として創業した同社は、77年にオートバックスのフランチャイジーとして津山店を開業。以来、順調に店舗数を増やし、地域の人たちのカーライフを支えている。

「カー用品の充実はもちろん、サービスや接客の質など、お客様視点に立った事業運営を目指しています」。そう話すのは美作グループの取締役を務める川嶋盛嗣さん。店はそのチームであり、チームワークで自分たちの店舗を運営していくという方針だ。人材育成にも力を入れ、新人研修ではビジネスマナーや接客のノウハウ、車や取り扱う商品の知識な

どが「から学べるため、接客未経験者や車の知識がない人でも安心して働くことができる。そして、研修の目的は勉強だけではなく、新入社員同士がともに過ごすことで同期の絆を深めてほしいという思いがある。

「お互いに仲間意識を持ち、いろいろな店舗で仕事を体験してもらい、たくさんのお客様やお客様とコミュニケーションをとってほしい。そしてそこで得られる新しい出会いの中で、人としても成長してもらえたら」

津山院庄店では今年、社員がゆったりとリラックスできるよう休憩室をリニューアル。「お客様のエリアはもちろんですが、社員も快適に働けるよう環境を整えていきたい。また、女性が活躍できる場もさらに増やしていく考えです」。2024年10月には、記念すべき10店舗目となる《日吉津店》がオープンした。「車検やタイヤを強みに、幅広い世代に対応した店舗にしたい」と意欲的に語る川嶋さん。山陰は一人が一台、車を所有する車社会。積雪地帯も多く、地域性のあるサービスが求められる。そうした多様なニーズに応じながら、将来的には新しい事業への展開も視野に入れているという。新店舗のオープンを経て、ドライバーたちのカーライフをさらに楽しく、豊かなものにしていくという。豊かなものにしていくという。